

千年あかり本格始動！

八月二十七日、天領資料館にて
第三回目の実行委員会が開催さ
れました。

実行委員会では、豆田辻公園の
展示オブジェの主力であった日
田林工の林産工学科の廃止に伴
う展示方法や竹伐採の期日・場所
について審議されました。

なお、林工の相良生徒会長が実
行委員会のオブザーバーに加入
り、日田林工と連携を図って行く
事が了承されました。



今年の基本方針を審議する実行委員会

九月八日、実行委員会では石井町の
旧産業工芸試験場にて昨年使用した竹
灯籠の保管状況を点検し、約二千本が
使用可能である事が分りました。
今後は三万本の竹灯籠の製作をめざ
して活動していく事になりました。



保管していた竹灯籠の状況を点
検・整理する実行委員の皆さん

竹伐採作業の御知らせ
九月二十二日・二十九日
午前八時・秋予想駐車場集合
昼食は実行委員会で準備
参加希望者は
〇八〇一六四〇五一四〇九五へ

平成二十五年度 第一回 日田市町並み保存審議会開催

八月十九日、市役所にて本年度の第一
回の「日田市町並み保存審議会」が開催
されました。

審議では、前回からの継続審議で街な
み環境整備事業の修景物件となっていた
主屋について、窓の位置が豆田の町並み
にそぐわない事から設計を一部修正する
事としました。

更に特定物件として、建築年代の確定
と特長を審議し、茂山家・古賀家の長屋
建築、小倉家の長屋建築、高野家の主屋
の四件を追加特定しました。

又、昨年完了した修理物件の根継ぎし
た部材に別の材種が使用された事につい
て審議し、事前協議を徹底して事業を進
める事が確認されました。



町並みにマッチした建物はどうかあるべ
きかなど議論しあった保存審議会

天領まつり説明会開催！

九月三日（火曜）市役所にて天領まつり
に関する説明会が開催され、豆田地区振興
協議会の自治会長が参加しました。

市観光課より「天領の歴史と文化の復興
祭」をコンセプトに実施されるイベントや
交通規制の在り様が説明されました。

説明会では、振興会主催で行われる「先
哲慰霊祭」や郡代着任行列の参加問題や屋
台の出店方法について協議されました。

また同席した千年あかりの財津委員長
より、まつり見物客の歩行安全を確保する
ため、土曜・日曜に加えて金曜日の午後六
時より十時までを歩行者天国にしたいと
の提案があり、豆田地区振興協議会として
は住人への周知を条件に了承する事とし
ました。



天領まつりに関する説明会に参加し
協議した自治会長の皆さん

上町山鉾、下町見送幕・水引幕新調を決定 日田祇園山鉾保存修理委員会開催!

八月十八日、日田祇園山鉾会館で文化庁文化財調査官石垣悟氏や大分県の文化課文化財班の三重野主幹、越智主任出席のもと、文化庁の補助事業として適切であるかどうかを審議する委員会が開催されました。

最初に平成二十五年度事業となっている豆田上町の山鉾復元新調工事について審議され、地元から「山鉾の高さは七m八〇cm」「田島陸橋を越える際の安全性」などが報告されました。

委員からは屋形の形状はどう決定するのか質問が出され、過去の絵図や写真を参考にし、遅くとも十一月までには決定すると返答していました。



本年度と26年度の事業を審議した委員会

次に二十六年事業となる豆田下町の見送幕・水引幕の復元新調事業についての審議が行なわれました。

委員会では、これらの幕の調査にあたった西陣織物館顧問の藤井健三先生から幕の劣化の状態から現幕修理より復元新調が妥当との意見がだされました。

又地元からは現在使用の山鉾の寸法に合わせて水引幕の横幅を1m30cmほど伸ばす要望が出され了承されました。

更に二十七年事業として中城町の見送幕を修理物件とする計画も了承されました。



来年2月には完成予定の上町山鉾の模型



上写真は豆田下町の鳳凰幕

下の写真は中城町の玄武幕



えん魔様まつりに多数の参拝者!

恒例の「えん魔様まつり」が八月十六日(木)丸の内の大超寺で行なわれました。この日はお盆の帰省客や地域の方が多数参拝し、本堂では住職が打ち鳴らす鉦に合わせて「百万偏大数珠」の供養行事が行われ、大人から子供まで数珠の大きさが自分の前に来る度に頭を下げ、先祖供養と無病息災を祈っていました。

又副住職が「地獄・極楽絵図」を前に、お釈迦さまの教えを説明していました。



住職の鉦に合わせて、子供たちも数珠玉を上下させてお念仏



大超寺に代々伝わる絵図が一年ぶりにご開帳

二五年祇園祭り点描



一新橋上の晩山



廣瀬駐車場の競演



来年は新調の上町山鉾